

第3次 横手市行財政改革アクションプラン 取組項目一覧

令和8年3月

目次

改革推進に向けた取組と評価指標.....	1
----------------------	---

【政策マネジメントの視点】

・ 行政評価の実効性向上とデータに基づく事業立案の推進	2
・ 行政活動への多様な主体の関与の推進.....	3

【業務マネジメントの視点】

・ 業務の見直しによる効率化の推進.....	4
・ 行政手続のオンライン化等を通じた市民の利便性向上.....	5

【財務マネジメントの視点】

・ 事業のビルド&スクラップと予算の重点配分による 財政効率化	6
・ 多様な自主財源確保策の推進	7

【資産マネジメントの視点】

・ 公共施設の配置の最適化及び保有総量の圧縮	8
------------------------------	---

【人材マネジメントの視点】

・ 人材育成体制の整備.....	9
・ 柔軟な働き方の推進.....	10

【組織マネジメントの視点】

・ 適正な人材配置の推進	11
・ 組織改革の実効性の向上.....	12

改革推進に向けた取組と評価指標

改革項目	改革の視点	取組項目	評価指標	初期値	目標値
				R7年度	R12年度
1.効率的な成果重視の行政経営の推進	(1) 政策マネジメントの視点	①行政評価の実効性向上とデータに基づく事業立案の推進	市の取り組み全般の市民満足度 (まちづくりアンケート)	61.7点 (R7.9)	67.9点 (R13.9)
		②行政活動への多様な主体の関与の推進	共創による取組の年間提案件数 (民間提案窓口取扱件数)	-	4件 (R12年度実績)
	(2) 業務マネジメントの視点	①業務の見直しによる効率化の推進	1年間の時間外勤務時間数が360時間を超える職員数	45人 (R6年度実績)	0人 (R12年度実績)
		②行政手続のオンライン化等を通じた市民の利便性向上	市民等から利用されたオンラインフォーム数 (単年度)	337 (R6年度実績)	550 (R12年度実績)
2.健全な財政運営の推進	(1) 財務マネジメントの視点	①事業のビルド&スクラップと予算の重点配分による財政効率化	当初予算における財政調整基金繰入額	31.1億円 (R7年度予算)	26億円以下 (R12年度予算)
		②多様な自主財源確保策の推進	多様な自主財源確保の取組による収入金額 (単年度)	19,015千円 (R6年度決算)	30,000千円 (R12年度決算)
	(2) 資産マネジメントの視点	①公共施設の配置の最適化及び保有総量の圧縮	公共施設の総延床面積	57.9万㎡ (R6年度末)	56万㎡ (R12年度末)
3.人材育成と人材活用による組織力の向上	(1) 人材マネジメントの視点	①人材育成体制の整備	市職員の資質向上に対する市民満足度 (まちづくりアンケート)	57.4点 (R7.9)	63.6点 (R13.9)
		②柔軟な働き方の推進	職員が望む最適な働き方に関する職員満足度 (職員満足度アンケート)	76.2点 (R7.3)	79.1点 (R13.3)
	(2) 組織マネジメントの視点	①適正な人材配置の推進	職員数(病院・消防を除く。)	840人 (R7.4)	835人 (R13.4)
		②組織改革の実効性向上	職員満足度アンケートにおける全体的な満足度	78.8点 (R7.3)	82.9点 (R12.3)

改革項目	1. 効率的な成果重視の行政経営の推進		
目指す姿	多様な手法により計画的かつ戦略的に事業が執行され、市民満足度の高い行政経営が行われています。		
改革の視点	(1)政策マネジメントの視点	担当部署	主 経営企画課 副 財政課

取組項目	①行政評価の実効性向上とデータに基づく事業立案の推進		
取組項目の方向性	他自治体での行政評価制度の活用事例を収集し、行政評価制度の実効性を向上させます。また、事業を検討する上で必要な「対象」「現状」「課題」等を整理するほか、各種統計データを活用した事業立案を推進します。		
取組項目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○行政評価制度の継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ・施策評価、実施計画事業評価の実施 ・行政評価の結果に基づく事業等の見直し ○行政評価制度の実効性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・行政評価結果の活用方法の見直し ○EBPMの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・各種統計データの事業立案への活用 ・ロジックモデルを活用した事業立案手法の形成と活用推進 ・地域経済分析システム（RESAS）の活用推進 		
評価指標	市の取り組み全般の市民満足度 (まちづくりアンケート)	令和7年度 61.7点	令和12年度 67.9点

各取組の実施スケジュール				
令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
施策評価、実施計画事業評価の実施				
行政評価に基づく事業等の見直し				
	行政評価結果の活用方法の見直し			
行政評価結果の活用				
各種統計データの事業立案への活用手法の検討	各種統計データの事業立案への活用			
ロジックモデルを活用した事業立案手法の形成	ロジックモデルを活用した事業立案の推進			
地域経済分析システム（RESAS）の活用周知	地域経済分析システム（RESAS）の活用			

改革項目	1. 効率的な成果重視の行政経営の推進		
目指す姿	多様な手法により計画的かつ戦略的に事業が執行され、市民満足度の高い行政経営が行われています。		
改革の視点	(1)政策マネジメントの視点	担当部署	主 経営企画課 副 秘書広報課

取組項目	②行政活動への多様な主体の関与の推進		
取組項目の方向性	市民や企業などが必要な情報を迅速かつ的確に把握できるよう、さまざまな媒体の特性を生かした情報発信により、行政活動への関与を推進します。また、行政活動の質の向上を図るため、専門知識を有する企業・団体との共創を推進します。		
取組項目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○住民参加の機会創出と促進 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信手法の精査と媒体の検討 ・まちづくりアンケートの実施 ・意見の収集方法の改善検討 ○専門知識を有する企業や団体との共創 <ul style="list-style-type: none"> ・企業や団体と共同で課題解決に取り組む仕組み（提案窓口）の運用 ・連携協定の締結による共創の推進 		
評価指標	共創による取組の年間提案件数 (民間提案窓口取扱件数)	令和7年度 -	令和12年度 4件

各取組の実施スケジュール				
令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
情報発信手法の精査と媒体の検討				
時代に即した媒体による情報発信の実施				
まちづくりアンケートの実施				
	意見の収集方法の改善検討			
民間提案窓口の運用 (R8.1~)				
連携協定の締結による共創の推進				

【重点取組】

No. 1 - (2) - ①

改革項目	1. 効率的な成果重視の行政経営の推進		
目指す姿	多様な手法により計画的かつ戦略的に事業が執行され、市民満足度の高い行政経営が行われています。		
改革の視点	(2)業務マネジメントの視点	担当部署	主 経営企画課
			副 情報政策課 総務課

取組項目	①業務の見直しによる効率化の推進		
取組項目の方向性	業務プロセスの抜本的な見直し（BPR）や定型的な事務作業の自動化、生成AIの活用などにより業務を効率化することで職員の作業負担を軽減するとともに、職員がより付加価値の高い業務に集中できる環境を整えます。		
取組項目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○業務効率化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・定型・単純業務に係るBPRの実施検討 ・アウトソーシング・指定管理者制度の活用推進 ・アナログ規制の見直し等によるデジタル化の推進 ○デジタルツールの活用推進 <ul style="list-style-type: none"> ・生成AI等の活用研修の実施 ・AI-OCR、RPA等の活用による業務の自動化・効率化 ○業務改善の推進 		
評価指標	1年間の時間外勤務時間数が360時間を超える職員数	令和7年度	令和12年度
		45人	0人

各取組の実施スケジュール				
令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	定型・単純業務に係るBPRの実施検討	アウトソーシングに関する指針の見直し検討	導入可能業務の抽出、導入に向けた調整	
指定管理者制度の運用と理解の推進	既指定管理施設の制度導入に係る課題の整理		指定管理者制度に関する運用指針の改訂	新たな指針による制度運用の開始
アナログ規制の対象となる例規の改正				
生成AI活用に向けた調査、活用研修	生成AI活用ガイドラインの再整備			
生成AIの運用				
AI-OCR、RPA等の運用				
業務改善の推進				

改革項目	1. 効率的な成果重視の行政経営の推進		
目指す姿	多様な手法により計画的かつ戦略的に事業が執行され、市民満足度の高い行政経営が行われています。		
改革の視点	(2)業務マネジメントの視点	担当部署	主 情報政策課 副 経営企画課 市民課

取組項目	②行政手続のオンライン化等を通じた市民の利便性向上		
取組項目の方向性	「書かない」「待たない」「回らない」窓口を目指して、業務プロセスの抜本的な見直しを行い、利用者の手続による負担軽減、利便性向上を図ります。また、オンライン手続の拡大を推進し、「行かない」窓口も目指します。		
取組項目の概要	<p>○オンライン手続の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LoGoフォームの活用推進 ・暮らしに役立つアプリでのプッシュ型情報提供の推進 ・公共施設予約システムの更新 <p>○書かないワンストップ窓口の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務のBPR実施 ・窓口業務支援システムの導入 ・窓口レイアウトの変更 		
評価指標	市民等から利用されたオンラインフォーム数（単年度）	令和7年度 337	令和12年度 550

各取組の実実施スケジュール				
令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
オンライン申請可能手続の洗い出し	LoGoフォームの活用推進			
	暮らしに役立つアプリでのプッシュ型情報提供の推進			
新公共施設予約システムの構築	新公共施設予約システムの運用			
窓口業務支援システム導入	書かないワンストップ窓口の運用			
本庁舎1Fフロアレイアウト変更	窓口業務支援システムの効果検証、運用方法の見直し			

【重点取組】

No. 2 - (1) - ①

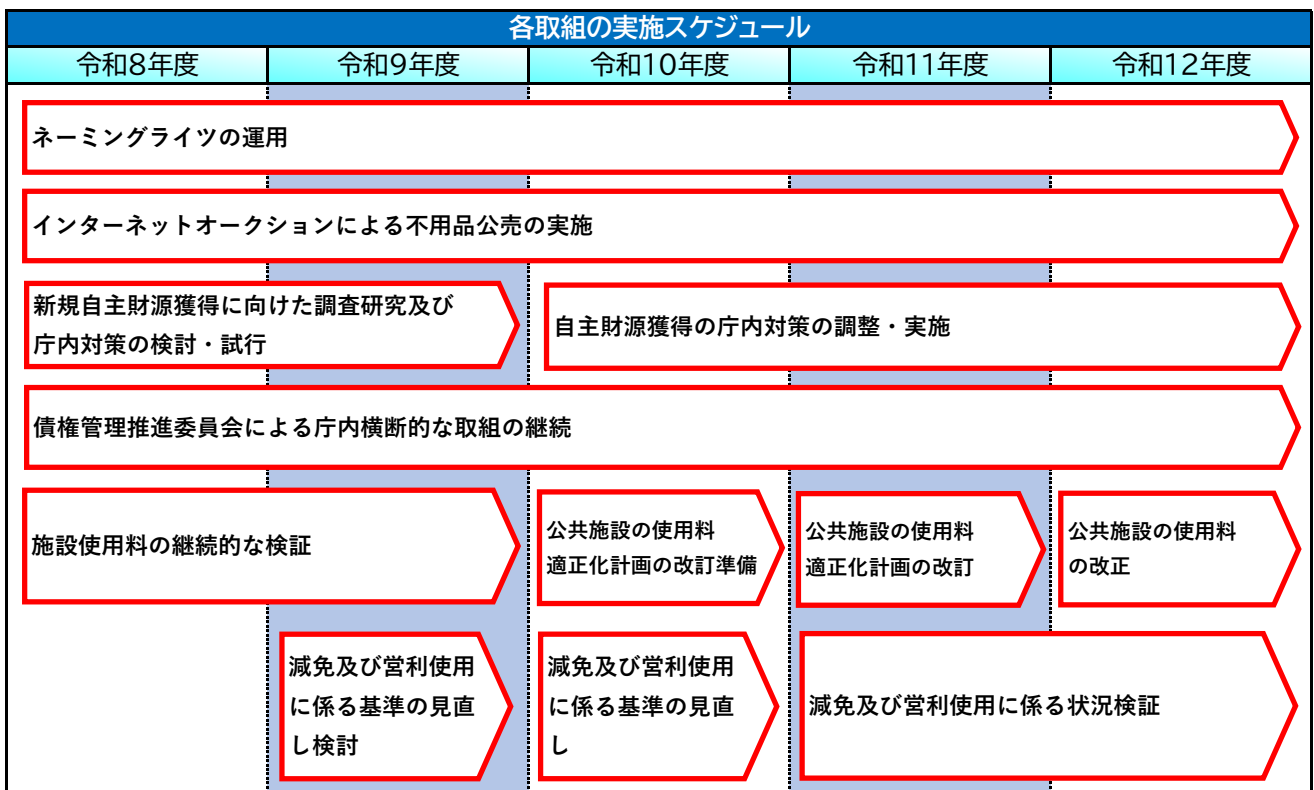
改革項目	2. 健全な財政運営の推進		
目指す姿	経営資源の最適化によるバランスの取れた健全な財政運営が堅持されています。		
改革の視点	(1)財務マネジメントの視点	担当部署	主 財政課 副 経営企画課

取組項目	①事業のビルド&スクラップと予算の重点配分による財政効率化		
取組項目の方向性	財政調整基金などの基金残高を一定程度確保しつつ、絶え間ない事務事業の見直しにより捻出した予算を重点配分することで戦略的な施策の展開を図ります。		
取組項目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○自発的なビルド&スクラップの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・事業毎に明確化された成果指標の予算編成（査定）への反映 ・機運醸成のための仕組みづくり ○より戦略的な施策展開を図るための予算編成手法の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・予算の重点配分に係る手法の検討、実施 ○補助金の継続見直し <ul style="list-style-type: none"> ・新たな補助金等見直し基準に基づく見直しの実施と制度見直しサイクルの確立 		
評価指標	当初予算における財政調整基金繰入額	令和7年度 31.1億円	令和12年度 26億円以下

各取組の実施スケジュール				
令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
事務事業の成果指標を効果的に予算編成に反映させる仕組みづくり（試行）		試行・検討結果の検証	事務事業の成果指標を効果的に予算査定に反映させるための仕組みを実施	
ビルド&スクラップの機運を高めるための仕組みづくりの検討			ビルド&スクラップの成果反映のための仕組みを実施	
予算の重点配分に係る手法の検討		重点配分に係る新手法の本格実施		
		新たな課題の整理、改善策の検討		
			新たな課題の整理、改善策の検討	補助金制度に関する見直しの実施
		「新・補助金等見直し基準」に基づく見直しの実施		

改革項目	2. 健全な財政運営の推進		
目指す姿	経営資源の最適化によるバランスの取れた健全な財政運営が堅持されています。		
改革の視点	(1)財務マネジメントの視点	担当部署	主 財政課
			副 財産経営課 収納課 経営企画課

取組項目	②多様な自主財源確保策の推進		
取組項目の方向性	新たな財源を多角的に確保し、景気変動や人口減少の影響を受けにくい安定的な歳入構造の形成に努めます。また、市の安定的な財政運営を支えるため、債権の確実な回収と年度内収納を強化します。公共サービスの受益者負担については、適切な応分負担であるか検証します。		
取組項目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な自主財源確保策の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・新たなネーミングライツ導入可能施設等の検討、提案募集型の周知 ・インターネットオークションによる不用品公売の実施 ・新たな自主財源獲得に向けた調査研究、自主財源獲得に対する庁内向け対策の実施 ○債権管理の一層の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・債権管理推進委員会による庁内横断的な取り組みの継続 ○公共サービスの受益者負担の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・施設使用料の継続的な検証、次期改訂に向けた準備 ・公共施設の減免基準、営利使用に係る基準の見直し 		
評価指標	多様な自主財源確保の取組による収入金額(単年度)	令和7年度	令和12年度
		19,015千円	30,000千円



改革項目	2. 健全な財政運営の推進		
目指す姿	経営資源の最適化によるバランスの取れた健全な財政運営が堅持されています。		
改革の視点	(2)資産マネジメントの視点	担当部署	主 財産経営課 副 財政課

取組項目	①公共施設の配置の最適化及び保有総量の圧縮		
取組項目の方向性	横手市財産経営推進計画（FM計画）に基づき、公共施設の「機能」の移転・集約や「建物」の統合・複合化を進めるなどして、再配置（市全体での配置の最適化）を推進します。また、少子高齢化・人口減少時代の中でも持続可能な行政経営と地域社会の実現を図るため、施設数及び延床面積の縮減を進めます。		
取組項目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○財産経営推進計画（FM計画）、公共施設個別施設計画の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な計画の見直し、ローリング、施設カルテの更新 ・再配置方針（譲渡、廃止、維持等）に応じた関係者協議 ・長寿命化施設の大規模改修や建て替えの計画的な実施 ・借地解消に向けた地権者交渉 ○老朽化施設等の計画的な解体 ○固定資産台帳の更新と活用 ○空き公共施設や遊休地の利活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・サウンディング型市場調査等による利活用可能性の模索 ・売却や貸付の推進 		
評価指標	公共施設の総延床面積	令和7年度	令和12年度
		57.8万㎡	56万㎡

各取組の実施スケジュール				
令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
F M計画・個別施設計画の改訂			次期 F M計画・個別施設計画（R 1 3～）の策定	
F M計画のローリング、施設カルテの更新				
F M推進小会議の開催等による個別施設ごとの再配置方針協議				
市有建築物法定点検の実施、施設予防保全マニュアルに基づく維持保全等の実施				
借地解消に向けた地権者交渉				
公共施設等解体事業の実施（アスベスト調査、実施設計業務委託、解体工事）				
案件に応じたサウンディング型市場調査の実施、土地建物公売のための不動産鑑定・測量等の実施				

改革項目	3. 人材育成と人材活用による組織力の向上		
目指す姿	変化する社会環境や市民ニーズに柔軟に対応しながら、多様な視点と連携のもと、職員の能力を最大限に発揮できる組織となっています。		
改革の視点	(1)人材マネジメントの視点	担当部署	主 人事課 副

取組項目	①人材育成体制の整備		
取組項目の方向性	研修受講体制の仕組みは維持しつつ、学びを実務の改善につなげ、研修成果を組織全体へ波及させる取組を進めます。		
取組項目の概要	<p>○職員の資質向上と能力の習得を図るための研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階層別や課題解決型と基軸とした学習機会の整備と運用 ・各職場における研修成果の実践 <p>○人事評価の実施と制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準・運用手順・フィードバックの適正化と継続的改善 <p>○昇任試験の実施と制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能力・実績に基づく仕組みの更新 <p>○人材育成基本方針の見直し</p>		
評価指標	市職員の資質向上に対する市民満足度 (まちづくりアンケート)	令和7年度 57.4点	令和12年度 63.6点

各取組の実施スケジュール				
令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
研修計画に基づく職員研修の実施				
人事評価の実施				
	人事評価制度の見直しの検討			
昇任試験の実施				
	昇任試験制度の見直しの検討			
人材育成基本方針の見直し				

改革項目	3. 人材育成と人材活用による組織力の向上		
目指す姿	変化する社会環境や市民ニーズに柔軟に対応しながら、多様な視点と連携のもと、職員の能力を最大限に発揮できる組織となっています。		
改革の視点	(1)人材マネジメントの視点	担当部署	主 人事課 副

取組項目	②柔軟な働き方の推進		
取組項目の方向性	子育て、介護、副業などの個別事情に応じた相談・支援体制を整え、誰もが安心してキャリアを継続できる環境づくりを進めます。また、職務の特性やライフステージに応じて、それぞれの職員が望む最適な働き方を選ぶことのできる仕組みを整えます。		
取組項目の概要	○多様で柔軟な働き方ができる環境づくりの推進 ・計画的な業務執行による年次有給休暇の取得促進 ・各種休暇制度の周知と利用促進 ・リモートワーク、時差出勤制度の運用		
評価指標	職員が望む最適な働き方に関する職員満足度 (職員満足度アンケート)	令和7年度 76.2点	令和12年度 79.1点

各取組の実施スケジュール				
令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画的な業務執行による年次有給休暇の取得促進				
各種休暇制度の周知と利用促進				
リモートワーク、時差出勤制度の運用				
システム更新を含めたリモートワークの見直し				
時差出勤制度の見直し、フレックスタイム制度の検討				

改革項目	3. 人材育成と人材活用による組織力の向上		
目指す姿	変化する社会環境や市民ニーズに柔軟に対応しながら、多様な視点と連携のもと、職員の能力を最大限に発揮できる組織となっています。		
改革の視点	(2)組織マネジメントの視点	担当部署	主 人事課 副

取組項目	①適正な人材配置の推進		
取組項目の方向性	職員数の増減要因を整理し、業務の集約や手続のデジタル化による効率化、窓口体制の見直し、また、人材の適切な活用を行いながら計画的な再配置に取り組みます。		
取組項目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○第4次定員適正化計画の推進 ○定年年齢引上げへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・役職定年、定年年齢延長職員の適正配置 ○計画的な職員採用 <ul style="list-style-type: none"> ・将来需要、年齢分布を踏まえた採用の最適化 ○会計年度任用職員の適正配置 <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員制度の運用基準の検討 		
評価指標	職員数（病院・消防を除く。）	令和7年度 840人	令和12年度 835人

各取組の実施スケジュール				
令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
「第4次定員適正化計画」の推進				
役職定年、定年年齢延長職員の適正配置				
職員採用試験の実施				
将来需要、年齢分布を踏まえた採用の最適化に向けた職員採用試験の随時見直し				
会計年度任用職員制度の運用基準の検討		会計年度任用職員の適正配置		

改革項目	3. 人材育成と人材活用による組織力の向上		
目指す姿	変化する社会環境や市民ニーズに柔軟に対応しながら、多様な視点と連携のもと、職員の能力を最大限に発揮できる組織となっています。		
改革の視点	(2)組織マネジメントの視点	担当 部署	主 副 経営企画課 人事課

取組項目	②組織改革の実効性向上		
取組項目の方向性	組織の再編を通じて、役割と機能の最適化を図るとともに、職員が能力を発揮しやすい職場風土を醸成し、組織全体の実行力向上と持続的な成長を実現します。		
取組項目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○組織機構再編の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な組織機構再編の実施 ・業務体制の見直し検討 ○快適で働きやすい職場風土の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・職員満足度アンケートの実施 ・職員満足度アンケートに基づく環境改善の検討 		
評価指標	職員満足度アンケートにおける全体的な満足度	令和7年度 78.8点	令和12年度 82.9点

各取組の実施スケジュール				
令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
組織機構再編の検討、実施				
業務体制の見直し検討 (各部署における役割分担の明確化)				
職員満足度アンケートの実施				
職員満足度アンケートに基づく環境改善の検討				